

# 令和2年度第2回健康づくり推進協議会ご意見

R2.12.24開催予定→書面開催

## 1 集計結果

### 議事

(1) 令和2年度第1回協議会におけるご意見と対応	
意見・質問あり	0件
意見・質問なし	18件
(2) 令和元年度実績報告(確定)	
意見・質問あり	3件
意見・質問なし	15件
(3) 令和3年度健康まえばし21ちらしについて	13件
意見・質問あり	
意見・質問なし	5件
(4) 健診受診勧奨標語の審査について	
意見・質問あり	2件
意見・質問なし	16件
(5) 地域・職域連携推進協議会について	
意見・質問あり	5件
意見・質問なし	13件
(6) その他	
意見・質問あり	4件
意見・質問なし	14件

## 2 意見と対応

(1) 令和2年度第1回協議会におけるご意見と対応  
意見・質問なし

(2) 令和元年度実績報告(確定)

No.	発言者	ご意見	対応
1	委員	実績を中間評価と比較して結果を出していると思いますが、策定時より中間評価が悪化している、中間評価よりR1年度は改善しているが、策定時よりは悪化している場合(例えば(6)全出生数中の低出生体重児の割合など)は、一時的には改善しているとなると思いますが、全体的には悪化していると思います。単年度での評価は必要だと思いますが、経年での評価も必要ではないかと思ひます。中間評価とだけ比べるのではなく、策定時のデータとも比べて評価する必要があるのではないかと思ひます。	(健康増進課)評価方法は、国の健康日本21(第2次)に準じ、「策定時のベースライン値と直近値の比較」し、それでは判断がつかない場合は年次推移を加味するとしております。そのため、現在の「改善」「悪化」の判断は、原則に従い「ベースライン値と評価時の比較」を優先しています。なお、H30年度に実施した中間評価においては、国に準じ4段階評価を行い、ベースライン値と直近値の比較において改善傾向であっても、年次推移において悪化傾向にある項目については、下位の評価を優先しています。その判断は、協議会において検討いただきましたので、最終評価においても、協議会のご意見に基づき判断したいと思います。(健康まえばし21(第2次計画)後期計画P17より)。

2	委員	定期的に歯科検診を受けている割合が若年層で減っているの、是非受けることのメリットを理解していただきたい。	(健康増進課)ご意見の通り、青年期における歯科の定期受診者の割合はH30年度34.0%からR1年度32.8%に低下しています。青年期への働きかけは重要と考えており、市内大学等へのポスター掲示やオンラインでの講話など、機会を捉えて受診勧奨並びに半年に1回の歯科受診を働きかけています。
3	委員	朝食を食べる小学生の男女差があるのと小学生の肥満が悪化傾向なことが気になりました。青年期・壮年期の健康の自己管理につながるためにも乳幼児期・学童期の健康教育がさらなる課題だと思いました。また、高齢者の低栄養も課題ですがフレイル予防の観点から高齢者の社会参加が改善していることは良いことだと思いました。	(子育て支援課)乳幼児期は保護者が用意する食事を食べている状況にあります。保護者の食生活が大きく影響していると思われるため、健診等では保護者の食生活改善にもつながるように栄養指導を行っています。また妊娠期の食生活や体重管理も子どもの健康状態に影響があると思われます。プレマクラス等で食事記録表返却時にアドバイスを行い、妊娠期から家族の食事に関する知識の普及を図っています。 (教・総務課)ご意見のとおり、小学生の肥満の悪化は学校保健の課題です。そのため、肥満度50%以上の高度肥満児には、受診勧奨を行うこととしております。また、学校保健会事業として、肥満度30%以上の2～3年生を対象とした健康教室なども実施し、肥満解消に向けた取り組みを行っているところです。また、希望者には、学校栄養士による栄養指導等も行っており、多方面からのアプローチにより、肥満の悪化防止に努めているところです。 (長寿包括ケア課)高齢者の低栄養については、既存の事業として高齢者配食サービスがあり、低栄養が理由でサービスを受けている方に、管理栄養士が訪問をしています。また来年度、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」において、低栄養者対象に、新規事業を始める予定です。高齢者の社会参加については、コロナ禍ではありますが、いろいろな形での社会参加を今後も継続して働きかけていきます。

### (3) 令和3年度健康まえばし21ちらしについて

No.	発言者	ご意見	対応
1	委員	第2次計画は「健康目標」を達成させるために策定された素晴らしい「実行計画」と思います。	(健康増進課)第2次計画の後期計画においては、行政の指針に留まらず、「具体的な取組」を提案し、市民の皆様にとって「使える」計画を目指しました。計画の推進には保健推進員や食生活改善推進員等、市民と行政のパイプ役を務める皆様のご協力が欠かせません。今後も、周知啓発にご協力をお願いします。
2	委員	前回よりも見やすくなったと思います。「進行した歯周病を有する者の割合」の図の右下の出典の文字と図が少しだけ重なっているの、図を少し小さくしていただけたらと思います。	(健康増進課)印刷会社と調整し、さらなる「見やすい資料」となるよう努めます。
3	委員	高齢期のところの文字が大きくなり、全体的にすっきりし読みやすくなった。	
4	委員	修正案は見やすく、訴求効果が期待できると思料する。	
5	委員	とても分かりやすくて、良いと思います。	

6	委員	健康豆知識の2つのグラフ中に、前橋市のデータである旨の記載がある方が図を理解しやすいと思います(第1回協議会のちらし案の1つ目のグラフにはその記載があった)。	(健康増進課)ご提案のとおり、修正します。
---	----	---	-----------------------

(4) 健診受診勧奨標語の審査について

※審査結果は別紙参照

No.	発言者	ご意見	対応
1	委員	標語一つ一つにかけがえのない「生命の尊さ」「健康の大切さ」「家族との絆」等、健康を最大限に尊重する理念が表現されていて、とても素晴らしいと思います。	(健康増進課)前協議会委員のご意見で始まった健診標語募集事業ですが、標語を考えることが、健診について考えるきっかけになること、また身近な人からの勧めにより、無関心層の健診受診の動機づけとなることを目指しています。今年度も素晴らしい作品をご応募いただきましたので、積極的に活用して参ります
2	委員	自分は健康だと思っけていても「家族の笑顔を守るため」の標語に、受ける必要性を痛感しました。	

(5) 地域・職域連携推進協議会について

No.	発言者	ご意見	対応
1	委員	詳細のデータでとても参考になりました。説明をしていただけたら、一層の理解ができたと思います。	(健康増進課)当初はご提供いただいた労働基準監督署様、協会けんぽ群馬支部様から説明をいただく予定でしたが、協議会が書面開催となり、直接ご説明を伺う機会が設けられず、残念でした。今後も、分かりやすい資料の作成を心がけるとともに、コロナ禍が落ち着きましたら、協議会を開催し、ご説明いただく機会を設けたいと思います。
2	委員	*2の区分:1.有意に低い等ありますが、何と何を比較して有意差があったのか、なかったのかを知りたいです。	(健康増進課)協会けんぽ群馬支部様に確認し、全国平均と前橋市の比較における判定とのこととです。
3	委員	コロナ感染状況が収束し、開催可能になれば健康寿命の延伸等の出前講座の依頼をさせていただきますと思います。	(健康増進課)地域に職員が出向く出張型健康教室「いきいき健康教室」は、各団体、年度2回まで利用ができますので、感染状況を見ながら、ぜひご利用ください。
4	委員	健診の重要性を再度啓発していく。また、男女別・年齢別・業種別などに合わせ、企業や地域と連携して健康教室などの事業を繰り返し開催していくことが重要なのではと思われます。	(健康増進課)地域・職域連携の目的の一つに、「保健事業の相互活用」があります。現在はコロナ禍で、思うように保健事業が展開できませんが、通常であれば、働く世代の皆様にもご活用いただける事業を各課で展開しておりますので、協議会を通じて周知していきたいと思ひます。
5	委員	当支部も資料概要のとおりと考えている。	(健康増進課)この度はデータの提供、ありがとうございました。今後も、よろしくお願ひします。

(6) その他

No.	発言者	ご意見	対応
1	委員	コロナ禍で益々状況が悪化する中で、健診等の事業がなくなり、市民に口腔の重要性をお話できる機会がなくなり、もどかしさを感じる日々です。また、自分自身の感染に対しての精神的ストレスを感じる毎日なので、精神面での支援等を充実させていただけると嬉しいです。	(健康増進課) コロナ禍で様々な事業が中止となっておりますが、細々とながらも啓発を続ける重要性を感じております。次年度の健康まえばし21ちらしは「歯と口の健康」がテーマです。集客型の事業はできないことが想定されますが、関係機関の皆様にご協力いただき、広く配布・周知していきたいと考えております。
2	委員	健康寿命の延伸が重要視される中で「健診は毎年のこと」と皆、意識している。成人歯科健康診査も毎年実施できるよう施策を考えていただきたい。また、歯科医院の受付においても、今年度対象であることを伝えていただくと忘れずに受診できるのではないかと。	(健康増進課) 現在、20歳から70歳までの5歳刻みで「成人歯科健康診査」を実施しておりますが、受診率は6.1%であり、県内他市と比較すると高水準であるものの、他の健診(検診)と比較すると低い状況で経過しています。まずは、この受診率を上げていくことが最優先と考え、40歳へのハガキによる再受診勧奨等、受診勧奨に努めております。また、実施医療機関における対象者への受診勧奨については、歯科医師会を通じてお願いをしているところです。
3	委員	新型コロナウイルス感染症対策が市民の重大な関心事であるが、地道な健康づくりは、感染症対策として重要な役割を果たしていると痛感している。そういう点を市民にもっとアピールできるといいのではないかと。	(健康増進課) 生活習慣病等、持病の有無が重症化に影響を与えることが分かっており、ご指摘のとおり、日頃の健康づくりが感染症対策として重要と思われまます。コロナ禍でできることが限られますが、今の状況でできることを途絶えることなく継続することが重要と考えております。地道な方法にはなりますが、次年度作成されます「健康まえばし21ちらし」の配布等、各関係機関の皆様にご協力を賜ればと思っております。よろしくお願ひします。